

**令和8年度（2026年度）名古屋市立大学大学院人間文化研究科  
博士前期課程（人間文化専攻臨床心理コース）  
学生募集要項**

令和元年度（2019年度）より公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の指定大学院となりました。

平成30年度より公認心理師国家試験の受験資格を取得することができます。

## 1 本コースの概要

この臨床心理コースは、なごや子ども応援委員会（名古屋市教育委員会）や名古屋市立大学病院等と連携し、「臨床心理基礎実習」等を行いながら、心理面接及び心理査定だけでなく、予防活動を含めたコミュニティ援助も念頭に置いた包括的な介入ができ、さらに援助チームの一員として他職種と協働して活躍できるようなスクールカウンセラー等の公認心理師および臨床心理士の養成を目指します。

※公認心理師国家試験の受験資格取得には、公認心理師法施行規則に定める所要の科目を開設する大学において、所要の単位を修得して卒業している必要があります。

## 2 募集人員

人間文化専攻臨床心理コース 20名程度

学内推薦選抜 5名程度

一般選抜 1回目 15名程度 2回目 若干名 3回目 若干名※

※3回目については、1回目および2回目の合格者の合計が募集人員に満たない場合に実施します。

## 3 出願資格

### 【一般選抜】

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和8年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から、学士の学位を授与された者、又は令和8年3月末までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和8年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和8年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は令和8年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は令和8年3月末までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は令和8年3月末までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者

【学内推薦選抜】

- ・名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科を令和8年3月末までに卒業見込みの者のうち、当選抜の出願有資格者として認められた者

4 出願期間及び方法

出願期間	1回目 (学内推薦選抜、一般選抜)	令和7年5月27日(火)～6月6日(金) [必着]
	2回目 (一般選抜)	令和7年8月1日(金)～8月12日(火) [必着]
	3回目 ※ (一般選抜)	令和7年12月1日(月)～12月15日(月) [必着]

出願は郵送(書留速達)に限ります。窓口受付は行いません。

※3回目については、1回目および2回目の合格者の合計が募集人員に満たない場合に実施します。

- ・日本国内から出願書類を送付の際は、必要事項を記入した本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を角型2号の封筒(ご自身でご用意ください)に貼り付け、書留速達で郵送ください。期限までに到着しなかった場合は、受理しません。(期限内消印有効ではないので注意してください。)本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を使用しない場合は、封筒の表面左下部分に「人間文化研究科博士前期課程出願書類在中」と朱書きしてください。
- ・出願書類を受理したときは、受験票、受験案内を送付します。なお、1回目(学内推薦選抜)については令和7年6月16日(月)、1回目(一般選抜)については令和7年7月9日(水)、2回目については令和7年8月26日(火)、3回目については令和8年1月21日(水)を過ぎても届かない場合は、[人間文化研究科担当(9ページ)]に照会してください。
- ・国外在住者が出願する場合は、国外からの郵送による出願書類の提出は認めませんので、必ず日本国内在住の代理人が出願手続を行ってください。本学からの通知も代理人あてに行います。  
なお、日本国籍を有しない者は、在留資格により出願できない場合もありますので注意してください。

5 出願書類等 注)1

	書 類 等	摘 要
①	入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	[本学所定用紙使用] ・写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 ・受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。 ・学歴は、中学校卒業から記入してください。 ・職歴があれば記入してください。 ・出願資格(3)～(6)により出願する者は、初等教育(小学校相当)から高等教育(大学相当)まで、修了した学校教育はすべて記入してください。
②	卒 業 証 明 書 (卒業見込証明書) 注) 2, 3	・在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。コピーは不可。 ・大学院修了(見込)者は、その修了(見込)証明書も提出してください。コピーは不可。 ・出願資格の(2)又は(8)により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。コピーは不可。 ・出願資格(3)～(6)により出願する者は、在籍又は出身の高等教育機関(大学相当)の長が作成した卒業証明書を提出してください。コピーは不可。 ・日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。)

③	成績証明書 注 2, 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍又は最終学歴の大学の長が作成したもの。コピーは不可。</li> <li>・出願資格(2)、(7)又は(8)により出願する者は、提出を要しません。</li> <li>・出願資格(3)～(6)により出願する者は、在籍又は出身の高等教育機関(大学相当)の長が作成した成績証明書を提出してください。コピーは不可。</li> <li>・日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込むのは構いませんが、原本に直接書き込まないでください。)</li> </ul>
④	研究計画書	<p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定の用紙に収まるよう記入してください。</li> </ul>
⑤	住民票 (外国籍の者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。</li> <li>・在留資格期間が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。</li> <li>・国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出してください。</li> </ul> <p>※個人番号(マイナンバー)が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。</p>
⑥	入学検定料等 (30,410円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振込依頼書(本学所定のもの)を使用し、必要事項を記入の上、30,410円(入学検定料30,000円+受験票等送付のための速達郵便料金410円)を添えて銀行などで振り込んでください。(ゆうちょ銀行[旧郵便局]では取り扱いはしません。また、ATM等は使用せず、窓口で振り込んでください。)</li> <li>・振込手数料は志願者本人負担となります。</li> <li>・銀行などから受け取った「検定料納付証明書(B票)」を他の出願書類と一緒に提出してください。「振込金(兼手数料)受領書(A票)」は入学志願者が保管してください。</li> <li>・原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還しますので、詳細は本学ウェブサイトを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①二重で振り込みをした場合</li> <li>②入学検定料等の振り込み後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も含む。)</li> </ul> </li> </ul>
⑧	入学誓約書 (学内推薦出願者のみ)	[本学所定用紙使用]
⑨	結果通知用封筒 (学内推薦出願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レターパックライト</li> </ul> <p>学内推薦選抜において筆記試験および口述試験の免除結果通知の送付に使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。</p>
⑩	学内推薦有資格者通知 (学内推薦出願者のみ)	先に発送した通知書を必ず同封すること。
⑪	あて名用シール	<p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返信先を明記してください。受験票等の送付及び合否の通知に使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。</li> </ul>
⑫	出願書類提出用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願書類提出用封筒の表紙(本学所定のもの)に必要な事項を記入してください。自身で用意した角型2号の封筒に表紙を貼り付け、出願書類を封入し、学生課入試係宛て郵送してください。</li> </ul>

注) 1 提出された出願書類は返却しません。

注) 2 ②、③について再発行ができない証明書は、出願時にコピーを提出するとともに、試験日に原本を試験会場へ必ず持参してください。

注) 3 卒業(見込)証明書及び成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

## 6 入学者選抜期日及び方法

### (1) 一般選抜の期日、時間、科目等

試験期日	試験時間	試験科目
[1日目] 1回目 令和7年7月26日(土)	9:00~10:30 (90分)	専門科目(筆記試験) 臨床心理学を含めた広く心理学に関する専門知識を問う内容になります。
2回目 令和7年9月6日(土)	12:30~14:00 (90分)	英語(筆記試験) 臨床心理学を含めた広く心理学に関連する英語能力を問う内容になります。
3回目 令和8年1月31日(土)		
[2日目] 1回目 令和7年7月27日(日)	9:00~	口述試験(面接) 出願書類④の内容を中心に行います。 1人20分程度を予定しています。
2回目 令和7年9月7日(日)		
3回目 令和8年2月1日(日)		

※3回目については、1回目および、2回目の合格者の合計が募集人員に満たない場合に実施します。  
※出願者数により試験が1日で行われる場合があります。詳細は受験案内にてお知らせします。

### (2) 学内推薦選抜の期日、時間、科目等

#### \* 【1回目のみ】学内推薦選抜…自己推薦による筆記試験(専門科目、英語)および口述試験(面接)の免除

学内の優れた資質を持つ学生の受け入れを目的として、一般選抜の筆記試験および口述試験に替え、成績証明書・研究計画書・口述試験(面接)で適正を評価する制度です。合格後の入学を確約できることを要します。

#### (I) 対象者

「3 出願資格【学内推薦選抜】」(2ページ)を満たす者

#### (II) 提出書類

「5 出願書類等」⑧~⑩(3ページ)を一般の出願書類に加えて提出してください。

#### (III) 選抜方法選抜期日

試験日	試験時間	試験科目
令和7年6月21日(土)	9:00~	口述試験(面接)

選抜は、成績証明書、研究計画書、口述試験(面接)を総合して行います。

#### (IV) 結果

審査の結果は、7月初旬頃に掲示および書面で通知します。

免除となった者は7月26日、27日に行われます筆記試験および口述試験(面接)が免除されます。また、免除を受けられなかった者は、特別な手続きを経ることなく上記の一般選抜の試験を受験することができます。

### (3) 試験会場

名古屋市立大学滝子キャンパス 1号館[人文社会学部棟]  
(名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1)

上記(1)(2)の詳細は、受験票とともに案内を送付します

## 7 合格発表

1回目	令和7年8月7日(木) 10:00
2回目	令和7年9月26日(金) 10:00
3回目	令和8年2月16日(月) 10:00

1号館[人文社会学部棟]1階人間文化研究科掲示板に掲示するとともに、本人又は代理人あてに合否を通知します。

## 8 入学手続

### (1) 手続期日(予定)

1回目	令和7年8月下旬
2回目	令和7年10月下旬
3回目	令和8年3月初旬

### (2) 手続方法

合格通知とあわせて、入学手続案内を本人又は代理人あて送付します。

### (3) 入学手続に必要な経費

ア 入学料(現行)	名古屋市住民等	232,000円
	その他の者	332,000円
イ 学生教育研究災害傷害保険料		1,750円

注1) 上記は令和7年4月入学者の金額です。令和8年度については改めて通知します。

注2) 名古屋市住民等とは、①入学者又は②入学者の配偶者若しくは1親等の親族が入学の日において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注3) 入学料等は入学手続時まで金融機関で納入してください。既納の納付金は、返還しません。

## 9 授業料

年額 535,800円(前期・後期分 各 267,900円)

注1) 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。

注2) 上記は令和7年4月入学者の金額です。令和8年度については改めて通知します。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。

注3) 必要な諸経費について別途徴収することがあります。

## 10 奨学金制度

日本学生支援機構等において大学院学生に対する貸与制度があります。

希望者については、本学において学業成績及び研究能力等を審査のうえ推薦手続をとります。

(外国籍の方は、申込資格のない場合があります。)

## 11 注意事項

- (1) 出願書類等が不備の場合は受理しません。
- (2) 同時に「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国学生特別選抜」、「学内推薦選抜」及び「臨床心理コース」の出願資格を有する場合、重複して出願することはできません。
- (3) 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類等は返還しません。
- (5) 受信場所を変更した場合は、直ちに[人間文化研究科担当(9ページ)]に連絡してください。

- (6) 障害等により、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、下記の期間に[人間文化研究科担当(9ページ)]に申し出てください。

障害等配慮申請期間	1回目	令和7年5月1日(木)～5月9日(金)
	2回目	令和7年7月1日(火)～7月8日(木)
	3回目	令和7年10月28日(火)～11月4日(火)

※3回目については、1回目および、2回目の合格者の合計が募集人員に満たない場合に実施する

- (7) 二重学籍は原則禁止とします。

## 12 個人情報の取扱い

個人情報については、名古屋市個人情報保護条例に基づいて、次のとおり取り扱います。

### (1) 個人情報の利用

- ア 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うために使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を今後の入学者選抜及び大学院教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

### (2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

## 13 緊急時における大学からのお知らせ

災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容を変更する必要がある場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。また受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、出願書類には必ず連絡のとれる連絡先を書くようにしてください。

- 本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

# 大学院人間文化研究科（人間文化専攻臨床心理コース）の概要

## 1 人材の養成に関する目的

[アドミッション・ポリシー]

### 《求める学生像》

今日の地球規模の課題および地域社会における諸課題は、技術的、物質的アプローチのみでは決して解決に至りません。価値観の多様性を前提としながら、人間の文化について深く掘り下げた研究が求められており、人間文化研究科の使命はまさにこうした研究を通じて、持続可能な社会の実現へ向けて貢献していくことにある。

本研究科では人文社会諸科学の研究、特に、思想、歴史、文学、メディア、労働、地域づくり、人権、福祉、教育、心理などの分野諸課題について、専門的かつ複眼的に研究し、教員と共同で研究することができる。深い専門知識と幅広い教養を生かして、将来、研究者になりたい、あるいは多様な人と協働し地域社会に貢献したい、また国際社会で活躍したいという意欲を持つ人の入学を期待している。

### 臨床心理コース

- ・臨床心理学における強い問題関心を有している人
- ・臨床心理学の研究者を目指した学術的修練を積みたい人、学校、地域、医療機関等において臨床心理学の専門知識をもつ高度専門職業人を志す人

### 《修得しておくべき知識等の内容・水準》

#### 臨床心理コース

- ・大学院での研究を進めるための基礎的な外国語運用能力を有していること。
- ・大学院での研究を進めるために十分な心理学、特に臨床心理学分野の基本的な専門知識と論理的思考能力、文章作成能力を有していること。

### 《選抜方法》

#### 臨床心理コース

博士前期課程臨床心理コースの選抜では、以下の方法により選抜します。

#### 【一般選抜】

本コースにおける研究に必要な専門的知識、思考力及び論述能力を考査する筆記試験(小論文)、本

コースにおける研究に必要な外国語能力を考査する筆記試験(英語)、及び、研究能力や研究意欲、適性などを判定する口述試験により選抜します。

#### 【学内推薦選抜】

学内の優れた資質を持つ学生の受け入れを目的として、一般選抜の筆記試験に替え、研究計画書・口述試験・成績証明書を総合して評価する。

本コースで必要とする基礎知識は成績証明書により評価する。また、研究計画書・口述試験により研究への意欲、適性、人物 を評価する。

[ディプロマ・ポリシー]

- ① 高度かつ先進的な国際水準の研究を行うことによって、次世代を担う若手研究者を育成し、また多様な経歴を持つ社会人の再教育を行うこと
- ② 人文社会諸科学の高度な知識と研究能力を涵養して、地域と国際社会の持続可能な発展に対応でき、寄与できる人材、現代社会の諸問題について指導的な役割を果たすことができる人材、グローバルな視点とローカルな視点とを併せもつ高度専門職業人や研究者を育成すること

### ③ 地域と連携した研究・教育を推進すること

上記目的を踏まえ、博士前期課程にあつては、本研究科に2年以上在学して、専門領域に関する高度な知識を身につけるとともに課題に即した研究能力を獲得し、さらに修士論文の審査および試験に合格することが学位授与の要件である。

なお修士論文の審査基準は、①問題設定とその解明の適切さ、②先行研究の検討の適切さ、③考察・論述の論理一貫性、④文章表現の分かりやすさ、の判断要素を総合的に考慮し、「専門分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力」を有していることである。

2 専攻 人間文化専攻臨床心理コース（博士前期課程）

3 標準修業年限 2年

4 入学定員 20名程度

5 授業科目

臨床心理コースでは、令和7年度入学生については次のような科目を開設しています。なお、令和8年度の授業科目は変更される場合があります。

#### (1) 研究演習科目

臨床心理学研究演習Ⅰ 臨床心理学研究演習Ⅱ 臨床心理学研究演習Ⅲ 臨床心理学研究演習Ⅳ

#### (2) 臨床心理必修科目

臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）  
臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）  
臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習） 臨床心理実習Ⅱ

#### (3) 臨床心理選択必修科目

心理統計法特論 臨床心理学研究法特論 発達心理学特論 認知心理学特論 社会心理学特論  
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践） 司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開） 産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開） 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開） 心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践） 障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）  
投映法特論 スクールカウンセリング特論（教育分野に関する理論と支援の展開） 心理療法特論 コミュニティ心理学特論

#### (4) 応用実践科目

学外実習Ⅰ（心理実践実習） 学外実習Ⅱ（心理実践実習） 学外実習Ⅲ（心理実践実習） 学外実習Ⅳ  
スーパービジョンⅠ（心理実践実習） スーパービジョンⅡ（心理実践実習） スーパービジョンⅢ（心理実践実習） スーパービジョンⅣ（心理実践実習）

### 6 授業の開講時間帯

本コースの授業は、平日の昼間時間帯のみ開講します。



## 7 履修方法及び学位授与

2年以上在学し、42 単位以上を修得し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（人間文化）の学位が授与されます。ただし、修士論文の単位は 42 単位には含めません。

## 8 取得できる資格

臨床心理士の受験資格（大学院指定制（第一種））  
公認心理師の受験資格

## 9 担当教員

氏名	職名	専門分野
小川 成	教授	認知行動療法、不安障害、気分障害、不安障害の併存疾患
佐渡 忠洋	准教授	イメージと心理療法、医療臨床、投映法、人間学・歴史学的研究
富田 真紀子	准教授	産業・組織心理学、キャリアカウンセリング、ワーク・ライフ・バランス
古村 健	准教授	認知行動療法、精神障害リハビリテーション、メタ認知トレーニング、心理教育

### <入学試験の過去問題について>

入学試験（筆記試験）の過去問題を下記により入手することができます。

#### ★ 本学窓口での配布

月曜日～金曜日（祝日を除く。）の 9:00～17:00 に山の畑事務室窓口〔滝子キャンパス 1 号館〔人文社会学部棟〕〕までお越しください。

#### ★ 郵送による請求

市販の封筒の左側に朱書きで「人間文化研究科博士前期課程（臨床心理コース）過去問題請求」と明記したうえ、レターパックライトを同封し、以下のあて先にご請求ください。  
なお、返信用封筒には、返信先の住所及び氏名をご記入ください。

### 過去問題に関する請求・照会先

〒467-8501  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1  
名古屋市立大学 山の畑事務室人文社会学部 学務係  
電話 052-872-5808

### 出願書類の郵送先・入学等に関する照会先

〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1  
名古屋市立大学 学生課入試係 人間文化研究科担当  
電話 052-853-8020 FAX 052-841-7428  
メールアドレス shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

### 【敷地内全面禁煙について】

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。